Genie®
A TEREX BRAND

操作説明書

シリアル番号の範囲

GS-2669
GS-3369
GS-4069

Bi-Energy Power

5000 から

ANSI/CSA
North America
South America
Asia

メンテナンス情報付き

First Edition
Third Printing
Part No. 826570JA

重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許されます。本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、弊社にお問い合わせください。

お問合せ先:

インターネット:www.genielift.com

E メール:awp.techpub@terex.com

目次

はじめに 1
シンボルと危険を表すイラストの定義 3
作業員の安全 5
作業場の安全 6
説明 14
操作パネル 15
点検 18
操作手順 34
輸送および持ち上げの手順 43
メンテナンス 46
仕様 49

Copyright © 2013 Terex Corporation

第 1 版:第 3 刷、2015 年 6 月

「Genie」は米国およびその他の国における
Terex South Dakota, Inc. の登録商標です。
「GS」は Terex South Dakota, Inc. の商標です。

本機械は ANSI/SIA A92.6
および CAN B.354.2 に
適合しています。

はじめに

所有者、ユーザー、およびオペレータ:

弊社の装置をお選びいただきありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。装置のユーザーまたはオペレータとして次の点を実施いただくことによって、安全に大きく貢献いただけると考えます。

1 従業員規則、作業現場の規則、および法規に**従う**。

2 **本マニュアルなど、装置に付属して**いるマニュアルの指示を読み、理解して従う。

3 **作業場における一般的な**安全管理を行う。

4 **訓練を受けたオペレータあるいは承認されたオペレータのみが、**事情に通じ知識が豊富な監督の指示を受けながら機械を操作する。



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ― 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

はじめに

危険の分類

製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報マーク ― ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

⚠ 危険 回避しないと、重傷または死に至る危険があることを示します。

⚠ 警告 回避しないと、重傷または死に至る可能性のある危険があることを示します。

⚠ 要注意 回避しないと、軽度または中程度のケガを負う可能性のある危険があることを示します。

注意 物品の損傷に関するメッセージです。

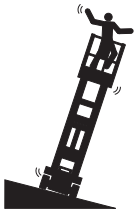
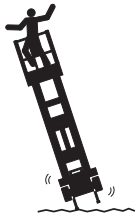
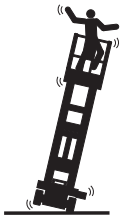
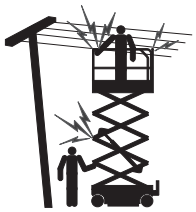
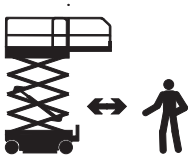
用途

本製品は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることのみを用途としています。

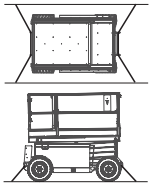
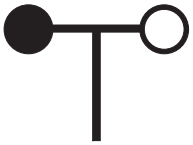
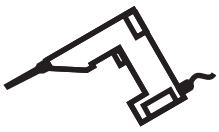
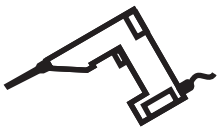
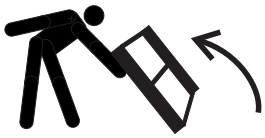
安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

シンボルと危険を表すイラストの定義

				
操作説明書を読んでください	サービスマニュアルを読んでください	挟まる危険	挟まる危険	衝突の危険
				
転倒の危険	転倒の危険	転倒の危険	転倒の危険	感電の危険
				
感電の危険	爆発の危険	火災の危険	やけどの危険	皮膚への噴射の危険
				
安全アームをセットしてください	可動部に近づかないでください	アウトリガーやタイヤに近づかないでください	平らな地面に機械を移動してください	シャーシ台を閉じてください
				
作業台を下げてください	アウトリガーで水平にできない場所に設置しないでください	必要な間隔を維持してください	適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください	紙類を使用して漏れを調べてください

シンボルと危険を表すイラストの定義

 輪止めをかましてください	 ブレーキを解除してください	 固定用具	 安全帯固定場所	 禁煙。
 車輪荷重	 輸送図	 側方圧	 風速	 アウトリガー負荷
 作業台への電力の定格電圧	 作業台への空気配管の定格圧力	 最大積載荷重量	 挟まる危険	
 下降中は手摺りを握ってください。				

作業員の安全

作業員の落下防止

この機械を操作するとき、落下防止装置 (PFPE) の着用は必要ありません。PFPE が作業場規則や従業員規則で義務付けられている場合、以下が適用されます。

PFPE はすべて適合する法規に準拠したもので、取扱説明書の指示に従って点検され使用されなければなりません。

作業場の安全

⚠ 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



電線から離す必要のある距離については、地域および国のすべての規制に従ってください。少なくとも、以下の表に記載の必要距離を空けなければなりません。

線間電圧		必要な距離
0 ～ 50KV	10 ft	3.05 m
50 ～ 200KV	15 ft	4.60 m
200 ～ 350KV	20 ft	6.10 m
350 ～ 500KV	25 ft	7.62 m
500 ～ 750KV	35 ft	10.67 m
750 ～ 1000KV	45 ft	13.72 m

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。



通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 転倒の危険

作業員、装備、および機材は、作業台最大積載荷重量または作業台延長時の最大積載荷重量を超えてはなりません。

最大積載荷重量 – GS-2669BE		
収納された作業台	1500 lbs	680 kg
延長された作業台 – 作業台のみ	1200 lbs	544 kg
延長された作業台 – 延長台のみ	300 lbs	136 kg
最大作業員数		4



1500 lbs / 680 kg 300 lbs / 136 kg 1200 lbs / 544 kg

最大積載荷重量 – GS-3369BE		
収納された作業台	1000 lbs	454 kg
延長された作業台 – 作業台のみ	700 lbs	318 kg
延長された作業台 – 延長台のみ	300 lbs	136 kg
最大作業員数		4



1000 lbs / 454 kg 300 lbs / 136 kg 700 lbs / 318 kg

作業場の安全

最大積載荷重量 – GS-4069BE		
収納された作業台	800 lbs	363 kg
延長された作業台 – 作業台のみ	500 lbs	227 kg
延長された作業台 – 延長台のみ	300 lbs	136 kg
最大作業員数		3



800 lbs / 363 kg



300 lbs / 136 kg 500 lbs / 227 kg



機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。



水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面上にある場合にのみシャーシ上で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合は、次の操作を行います。
作業台を下げます。機械を安定した平坦な地面に移動します。作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意を払って作業台を下げてください。

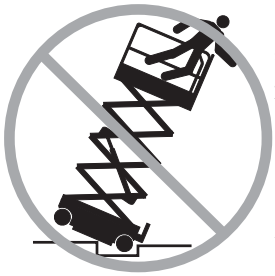
リミットスイッチを改造したり、使用不能にしたりしないでください。

作業台を上げたままの状態で時速 0.48 km 以上で走行しないでください。

風速が秒速 28 mph / 12.5 m を超える場合は作業台を上げないでください。秒速 28 mph / 12.5 m 以上の風速のもとで作業台を上げている場合は、作業台を下げ、機械の操作を中止してください。



強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。



平らでない場所、障害物のある場所、不安定な場所、または滑りやすい場所を、収納した状態で走行しているとき、あるいは、くぼみや急に低くなっている場所の近辺で走行しているときは、細心の注意を払うとともに、機械を減速してください。

作業場の安全

近くの構造物に挟まったり、引っ掛かったりして、通常の運行を妨げられている作業台を、作業台操作を使用して解放しようとしないでください。作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。

水平でない不安定な地面やその他の危険な状況では、作業台を上昇させて機械を走行させないでください。

機械をクレーンとして使用しないでください。

作業台を使って機械や他の物体を押さないでください。

作業台を近辺の建造物に接触させないでください。

作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。



作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

最大側方圧力 — ANSI & CSA	
GS-2669BE – 4 人	225 lbs / 1000 N
GS-3369BE – 4 人	200 lbs / 890 N
GS-4069BE – 3 人	150 lbs / 667 N

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

製造元の書面による事前の許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。



機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。



はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

作業場の安全

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤがすべて良好な状態にあり、みぞ付きナットが適切に締められ、止めピンが適切に設置されていることを確認してください。

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーを使用しないでください。バッテリーは釣合い重りとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。標準バッテリー オプション付きの GS-2669 および GS-3369 の各バッテリーの重さは 63 lbs / 29 kg でなければなりません。GS-4069 および大容量バッテリー オプション付きの機械の各バッテリーの重さは 72 lbs / 32.7 kg でなければなりません。

⚠ 手のケガの危険

手や腕をシザーズに近づけないでください。

手摺りを折りたたんでいる間は手を近づけないでください。

作業台の下または、安全アームがないシザー リンク内で作業しないでください。

地上からコントローラを使って機械を操作する際は、常識的な判断をもって行ってください。オペレータ、機械、固定物との間には安全な距離を保ってください。

⚠ 傾斜面での操作の危険

機械の最大上り、下りおよび横勾配の定格値を超える斜面では、機械を走行しないでください。定格勾配は、機械が収納状態の場合にのみ適用されます。

最大勾配の定格値、収納状態

	延長デッキ、登り勾配	35% (19°)
	延長デッキ、下り勾配	15% (9°)
	横勾配	35% (19°)

注記：定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

作業場の安全

⚠ 落下の危険

手摺りは落下防止用です。もし作業台にいる作業員が作業場規約や従業員規約により落下防止装備（PFPE）を着用する必要がある場合は、PFPE 装備とその使用方法は PFPE 製品メーカーの指示や適合する法規に従って実施してください。備え付けられている承認された安全帯取り付け場所を使用してください。



作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

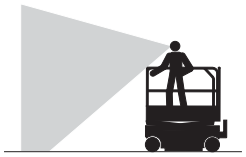
作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

機械が作業台収納位置にない場合は、作業台に入ったり作業台から出たりしないでください。

操作する前に、作業台に出入口チェーンを取り付けるか、出入口ゲートを閉めてください。

手摺りがしっかりと設置され、出入口がしっかりと閉められるまでは、機械を操作しないでください。

⚠ 衝突の危険



走行中または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

機械を移動する際は延長作業台の位置に注意してください。

ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。

作業員は、安全装備の使用において、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

作業場の安全

作業台操作の色別方向矢印および走行とステアリング機能用の作業台ステッカープレートをよく見ながら、操作してください。



作業台を下げるときは、必ず作業台の下に人がいないこと、また障害物になるものがないことを確かめてから行ってください。



路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものに従って、走行速度を制限してください。

頭上で作動中の機械あるいはクレーンの軌道上においては、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、機械を操作しないでください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

⚠ 人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、作業前の点検を行うときのみにこれらのコンパートメントにアクセスしてください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

エンジンが作動しているときは、一酸化炭素中毒を避けるため、よく換気された場所で機械を操作してください。

作業場の安全

⚠ 爆発と火災の危険

ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがする場合、あるいはそれらを検知した場合は、エンジンを始動しないでぐださい。

エンジンが作動している状態で、燃料を補給しないでください。

燃料の補給とバッテリーの充電は、火花、炎、または火のついたタバコのない、換気された広い場所で行ってください。

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

エンジンにエーテル製スプレーをかけないでください。

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書と Genie サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、機械の保管場所に保管されているようにしてください。

⚠ 部品の損傷の危険

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

ブースターケーブルを使ってエンジンを始動する場合は、12V より高いバッテリーもしくは充電器を使用しないでください。

使用後のロックアウト

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 作業台を下げます。

3 キースイッチを OFF (オフ) の位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

4 バッテリーを充電します。

作業場の安全

⚠ バッテリーの安全管理

やけどの危険

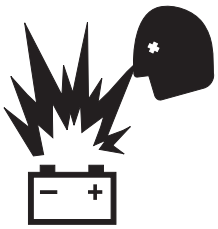


バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

爆発の危険







火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

バッテリートレイは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開いたままの状態にしてください。

バッテリー端子またはケーブル留め金に金属製の工具で触れると火花を発することがあります。工具を使用するときは、接触させないように注意してください。

部品損傷の危険

バッテリーの充電には、48V より高い電圧の充電器を使用しないでください。

感電/やけどの危険



充電器は、接地されている AC 3 ピン電気コンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブルおよび配線の損傷を毎日点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

バッテリー端末への接触による感電に注意してください。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

発電機が水中に沈んでいる場合には、操作しないでください。

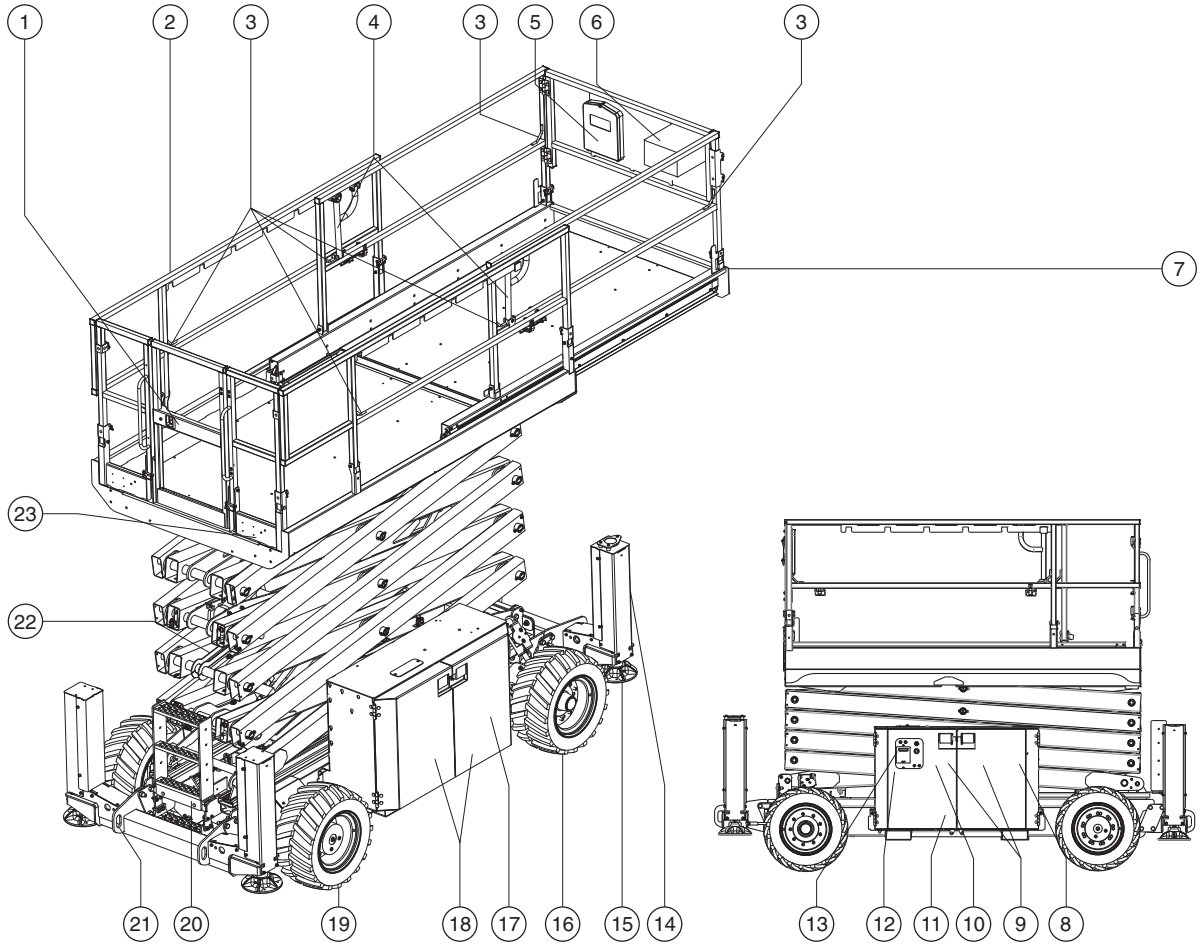
転倒の危険

工場出荷時に機械に搭載されているバッテリーより軽いバッテリーを使用しないでください。バッテリーは釣合い重りとして使用されており、機械の安定性に不可欠です。標準バッテリー オプション付きの GS-2669 および GS-3369 の各バッテリーの重さは 63 lbs / 29 kg でなければなりません。GS-4069 および大容量バッテリー オプション付きの機械の各バッテリーの重さは 72 lbs / 32.7 kg でなければなりません。

持ち上げ時の危険

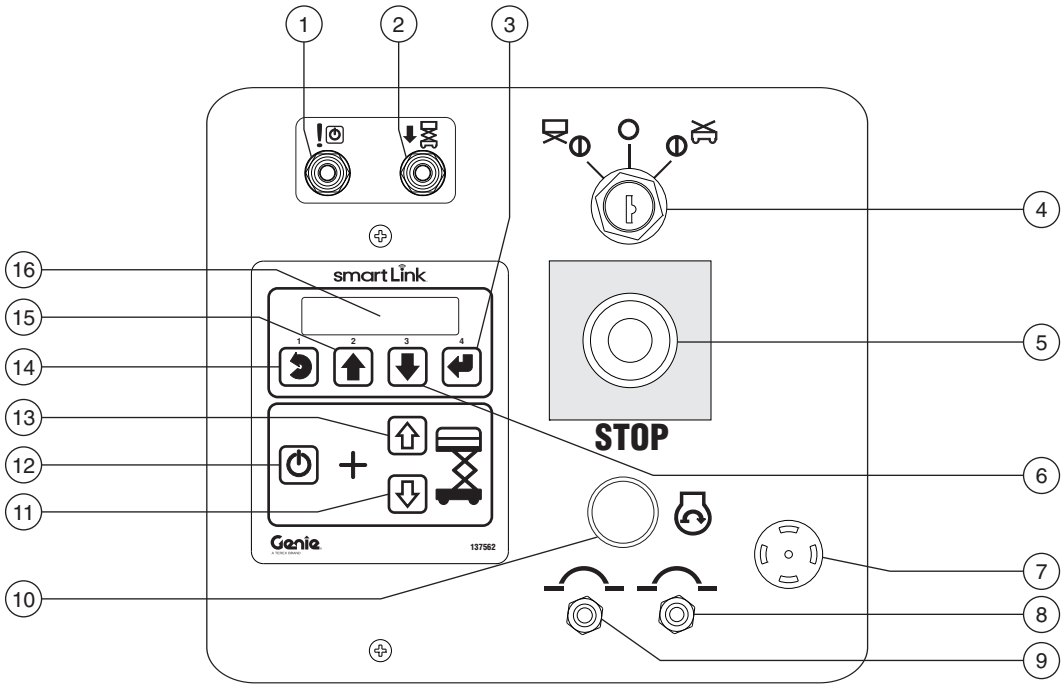
バッテリーを持ち上げるときは、適切な人数と手段で行ってください。

説明



1 作業台出入口ゲート
2 作業台手摺り
3 安全帯固定場所
4 作業台延長部ロックハンドル
5 マニュアル保管場所
6 作業台操作パネル
7 作業台延長部
8 バッテリー充電器（地上操作側のカバーの後ろ）
9 地上操作パネル側面カバー
10 油圧タンク（カバー後ろ）
11 傾斜アラーム (カバー後ろ)
12 作動油量表示ランプ(カバー後ろ)
13 LCD 表示画面付き地上操作パネル
14 アウトリガー ハウジング（アウトリガーに装備されている場合）
15 アウトリガー フットパッド（アウトリガーに装備されている場合）
16 操舵輪
17 エンジン(カバー下)
18 バッテリー コンパートメントカバー
19 非操舵側タイヤ
20 出入口はしご
21 輸送用の荷締め
22 安全アーム
23 GFCI コンセント

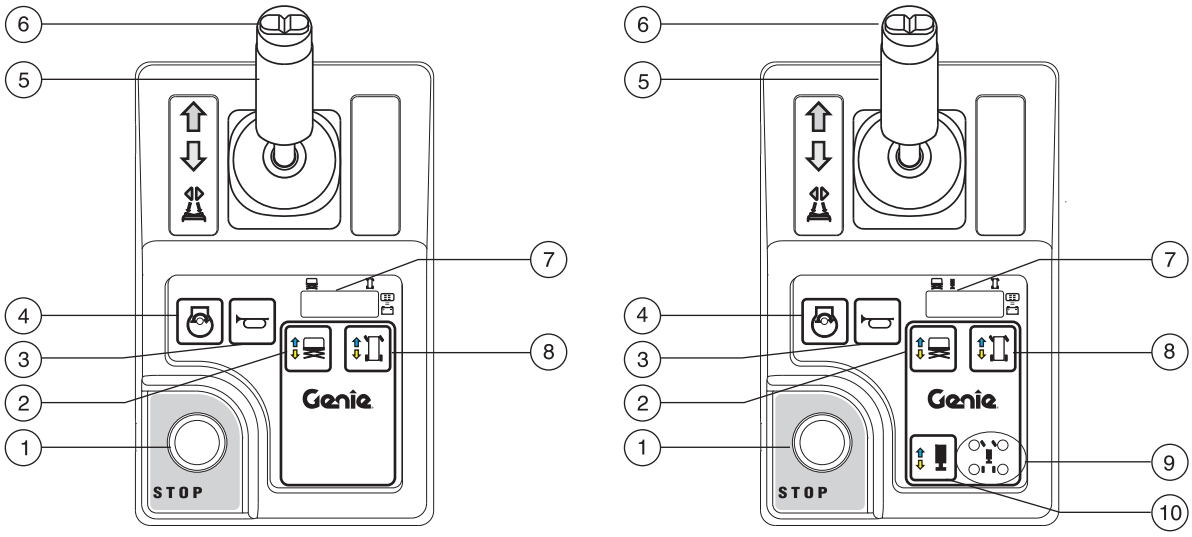
操作パネル



地上操作パネル

1 緊急降下用機能作動トグルスイッチ
2 緊急降下用トグルスイッチ
3 メニュー 確定 ボタン
4 作業台/オフ/地上操作選択用キースイッチ
キースイッチを作業台の位置に回すと、作業台操作パネルが作動します。キースイッチを OFF (オフ) の位置に回すと、機械はオフになります。キースイッチを地上位置まで回すと、地上操作が作動します。
5 赤色非常停止ボタン
赤色非常停止ボタンを押し込んで OFF（オフ）の位置にすると、全機能が停止します。機械を操作するには、赤色非常停止ボタンを引いて ON （オン） の位置にします。
6 メニュー 下降 ボタン
7 アラーム
8 制御回路用 7A 回路ブレーカー
9 制御回路用 15A 回路ブレーカー
10 エンジン始動ボタン
11 作業台下降ボタン
12 リフト機能作動ボタン
このボタンを押したままにすると、リフト機能が作動します。
13 作業台上昇ボタン
14 メニュー 中断ボタン
15 メニュー 上昇 ボタン
16 LED 診断表示

操作パネル



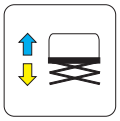
作業台操作パネル

1 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押し込んで OFF（オフ）の位置にすると、全機能が停止します。赤色非常停止ボタンを引いて ON（オン）の位置にして、機械を操作します。

2 リフト機能ボタン

このボタンを押すと、リフト機能が作動します。



3 ホーンボタン

ホーン ボタンを押すと、ホーンが鳴ります。ホーン ボタンを離すと、ホーンが鳴り止みます。



4 表示ランプ付きエンジン始動/停止ボタン

エンジン始動ボタンを押して、エンジンを始動します。ボタンが押されている間、エンジン始動ボタン表示ランプが点灯します。エンジン再始動システムが作動していると、ランプが点灯します。



エンジン始動ボタンを押して、エンジンを停止します。

操作パネル

5 走行、ステアリングおよびアウトリガー機能用の比例コントロール ハンドルおよび機能作動スイッチ

リフト機能：機能作動スイッチを押したままにすると、作業台操作ハンドルのリフト機能が作動します。コントロール ハンドルを青い矢印の方向へ動かすと、作業台が上がります。コントロール ハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、作業台が下がります。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

走行機能：機能作動スイッチを押したままにすると、作業台操作ハンドルの走行機能が作動します。コントロール ハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に動かすと、青い矢印が指す方向へ機械が動きます。コントロール ハンドルを操作パネルの黄色の矢印の方向に動かすと、黄色の矢印が指す方向へ機械が動きます。

アウトリガー機能：機能作動スイッチを押したままにすると、作業台操作ハンドルのアウトリガー機能が作動します。コントロール ハンドルを青い矢印の方向へ動かすと、アウトリガーが収縮します。コントロール ハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、アウトリガーが延長します。

6 ステアリング機能用サムロッカースイッチ

サムロッカーの左側を押すと、機械は作業台操作パネル上の青い三角印の方向を向きます。



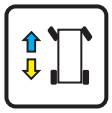
サムロッカーの右側を押すと、機械は作業台操作パネル上の黄色い三角印の方向を向きます。



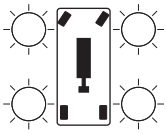
7 LED 診断表示/バッテリー充電表示

8 走行機能ボタン

このボタンを押すと、走行機能が作動します。



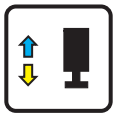
9 アウトリガー表示ランプ



アウトリガーの延長中は、ランプは緑に点滅します。それぞれのトリガーが地面に接触すると、ランプは緑に点灯します。アウトリガーの延長手順が中断された場合は、ランプは緑に点滅し、アウトリガーが地面に接触していない、またはアウトリガーが完全に位置についていないことを示します。アウトリガーの収縮中は、ランプは緑に点灯します。各アウトリガーが完全に収縮されると、ランプは消えます。ランプは赤く点灯し、対応するアウトリガーの動作が終わったことを示します。

10 アウトリガー機能ボタン

このボタンを押すと、アウトリガー機能が作動します。



点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定メンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

点検

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあることを確認します。「点検」のセクションを参照してください。
- ❑ エンジンオイルの漏れがないこと、適切な量であることを確認します。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ 作動油の漏れがなく、量が適当であることを確認してください。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかを確認します。必要に応じて蒸留水を補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ユニット、容器、ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- ❑ 発電機と関連部品
- ❑ 燃料と油圧タンク
- ❑ 駆動モーター
- ❑ 磨耗板
- ❑ タイヤとホイール
- ❑ エンジンと関連部品
- ❑ リミットスイッチ、アラームと警報
- ❑ 安全帯固定場所
- ❑ アラームとビーコン（装備されている場合）
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ ブレーキ解除部品
- ❑ 安全アーム
- ❑ 作業台延長部
- ❑ シザースピンと固定ファスナー
- ❑ 作業台操作ジョイスティック
- ❑ アウトリガー ハウジングとフットパッド（装備されている場合）
- ❑ バッテリーパックと接続
- ❑ アース用ストラップ
- ❑ 作業台出入口ゲート

機械全体にわたって下記をチェックします。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障
- ❑ 過度のさび、腐敗または酸化

- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。
- ❑ 側面レールが設置され、ボルトが締まっていることを確認します。

注記：機械を検査するために作業台を上げなければならない場合は、安全アームが所定の位置にあることを確認します。「操作手順」のセクションを参照してください。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

点検

地上操作

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した水平な場所を選びます。

2 バッテリーが接続されていることを確認します。

3 作業台と地上にある両方の赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

4 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

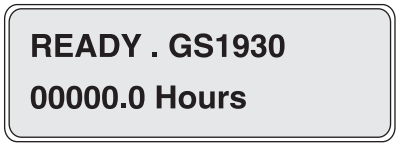
5 作業台操作パネルにある診断 LED の表示を確認します。

⊙ 結果:LED は下の図のように表示されているはずです。



6 地上操作パネルにある診断 LCD の表示を確認します。

⊙ 結果:LCD には、モデルと時間計が表示されます。



非常停止のテスト

7 エンジンを始動させます。

8 赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) の位置にします。

⊙ 結果:エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

9 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にしてエンジンを再始動します。

上昇/下降機能のテスト

この機械の警告音と標準ホーンはすべて同じ中央アラームから発せられます。ホーンは継続音です。下降アラームは毎分 60 回のビープ音を鳴らします。機械が水平でないときに、アラームのビープ音が毎分 180 回鳴ります。

10 リフト機能作動ボタンを押さないでください。

11 作業台上昇または作業台下降ボタンを押します。

⊙ 結果:リフト機能は作動しません。

12 作業台上昇または作業台下降ボタンを押さないでください。

13 リフト機能作動ボタンを押します。

⊙ 結果:リフト機能は作動しません。

14 リフト作動ボタンを押したままで、作業台上昇ボタンを押します。

⊙ 結果:作業台が上昇します。

15 リフト作動ボタンを押したままで、作業台下降ボタンを押します。

⊙ 結果:作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

点検

緊急下降のテスト

16 リフト作動ボタンと作業台上昇ボタンを押して、上昇機能を作動させ、作業台を 2 ft / 60 cm ほど上昇させます。

17 地上操作の赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にします。

18 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

19 緊急降下機能作動トグルスイッチを動かして、そのままの位置にします。

20 緊急降下トグルスイッチを動かして、そのままの位置にします。

⊙ 結果:作業台が下降します。下降アラームは鳴りません。

21 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

作業台操作

非常停止のテスト

22 エンジンを始動させます。

23 作業台の赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にします。

⊙ 結果:エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

24 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン)にしてエンジンを再始動します。

警報のテスト

25 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

26 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果:ホーンが鳴ります。

機能作動スイッチと上昇/下降機能のテスト

27 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにしないでください。

28 コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

29 リフト機能ボタンを押します。

30 リフト機能がタイムアウトするまで 7 秒間待機します。

31 コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:リフト機能は作動しません。

32 リフト機能ボタンを押します。

33 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを青い矢印の方向へゆっくりと動かします。

⊙ 結果:作業台が上昇します。

34 コントロール ハンドルを離します。

⊙ 結果:作業台の上昇が止まります。

35 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを黄色い矢印の方向へゆっくりと動かします。

⊙ 結果:作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

点検

走行機能ボタンのテスト

36 走行機能ボタンを押します。 

37 走行機能がタイムアウトするまで 7 秒間待機します。

38 コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果：機能は何も作動しません。

ステアリングのテスト

注記：ステアリングと走行機能テストを実施する際、作業台上で機械のステアリング側に向かって立ってください。

39 走行機能ボタンを押します。 

40 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

41 コントロールハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押します。

⊙ 結果：ステアリング ホイールが、青色三角形の示す方向に向きます。

42 コントロール ハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネルの黄色の三角形の示す方向に押します。

⊙ 結果：ステアリング ホイールが、黄色三角形の示す方向に向きます。

走行とブレーキのテスト

43 走行機能ボタンを押します。 

44 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

45 コントロール ハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、コントロール ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：機械は操作パネル上の青い矢印の方向に動き、その後コントロール ハンドルがセンターポジションに戻ると急停止します。

46 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、コントロール ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：機械は操作パネル上の黄色の矢印の方向に動き、その後コントロール ハンドルがセンターポジションに戻ると急停止します。

注記：ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

傾斜センサーのテスト

注記：このテストは地上から作業台操作で行ってください。作業台には立たないでください。

47 作業台を完全に下げます。

48 2x4 in / 5x10 cm か同等の大きさの木片を、機械片側の 2 つのタイヤの下に置きます。

点検

49 作業台を地上約 7 ft / 2.1 m まで上げます。

⊙ 結果：作業台が止まり、傾斜アラームが毎分 180 回のビープ音を鳴らします。作業台操作パネルの LED 表示と地上操作 LCD に、LL: Machine Tilted（LL: 機械が傾いている）が表示されます。

50 走行機能ボタンを押します。 

51 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

52 コントロール ハンドルを青い矢印の方向に動かした後、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果：走行機能はどちらの方向にも作動しません。

⊙ 作業台を下げ、両方の木片を取り除きます。

上昇時走行速度のテスト

53 作業台を地上約 8 ft / 2.4 m まで上げます。

54 走行機能ボタンを押します。 

55 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果：作業台が上昇した状態での最大走行速度は秒速 0.44 ft / 13 cm を越えてはいけません。

作業台を上げた状態での走行速度が秒速 0.44 ft / 13 cm を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

格納時走行速度のテスト

56 リフト機能ボタンを押したままで、作業台下降ボタンを押します。

⊙ 結果：作業台が下降します。

57 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを青い矢印で示されるフル走行位置までゆっくりと動かします。

⊙ 結果：作業台が格納した状態での最大走行速度は秒速 6.6 ft / 2 m を越えてはいけません。

作業台を収納した状態での走行速度が秒速 6.6 ft / 2 m を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

58 コントロール ハンドルの走行・ステアリング機能作動スイッチを押したままにします。コントロール ハンドルを黄色い矢印の方向へフル走行位置までゆっくりと動かします。

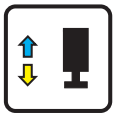
⊙ 結果：作業台が格納した状態での最大走行速度は秒速 4.4 ft / 1.34 m を越えてはいけません。

作業台を格納した状態での逆進走行速度が 4.4 ft / 1.34 m 秒を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

点検

アウトリガー システムのテスト(装備されている場合)

59 アウトリガー機能ボタンを押します。LCD 画面では、アウトリガー機能シンボルの下に丸印が表示されます。



アウトリガー機能ボタンを押しても、コントロール ハンドルが 7 秒以内に動かない場合には、アウトリガー機能シンボルの下の丸印が消えて、アウトリガー機能は作動しません。再度、アウトリガー機能ボタンを押します。

60 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

61 コントロール ハンドルを黄色い矢印の方向へ動かします。

⊙ 結果:アウトリガーが延長されます。対応するアウトリガーが延長すると、各アウトリガー表示ランプが緑に点滅します。

62 すべてのアウトリガー表示ランプが緑色に点灯し、長いビープ音が作業台操作アラームから聞こえるまで黄色い矢印の方向へコントロール ハンドルを押し続けます。機械は水平な状態にあります。この時点で、走行およびステアリング機能は無効になっています。

注記:延長中にコントロールハンドルをすぐに離すと、アウトリガー表示ランプが緑に点滅し続け、アウトリガーが地面に接触していないことを示します。

注記:アウトリガーが地面に接触した後にコントロールハンドルをすぐに離すと、長いビープ音が作業台操作パネルから聞こえず、アウトリガー表示ランプは緑に点灯します。長いビープ音が聞こえず、アウトリガー表示ランプが緑に点灯する場合は、アウトリガーが完全に位置についていない、または機械が水平でないことを示します。

63 走行機能ボタンを押します。

64 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

65 コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:機械は青と黄色の矢印で示された方向に移動してはいけません。

66 走行機能ボタンを押します。

67 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

68 コントロールハンドルの上部にあるサムロッカースイッチを、操作パネルの青い三角印および黄色い三角印の示す方向に押します。

⊙ 結果:ステアリング ホイールが、青と黄色の三角形の示す方向に向いてはいけません。

点検

69 作業台を上昇させます。

⊙ 結果:作業台が上昇します。作業台を約 8 ft / 2.4 m まで上昇させて停止します。

70 作業台を完全に下げます。

71 アウトリガー機能ボタンを押します。

72 アウトリガー機能がタイムアウトするまで 7 秒間待機します。

73 コントロール ハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:アウトリガーが収納されません。

74 アウトリガー機能ボタンを押します。

75 コントロール ハンドルを青い矢印の方向へ動かします。

⊙ 結果:アウトリガーが収縮されます。対応するアウトリガーが収縮すると、各アウトリガー表示ランプが緑に点灯します。

76 アウトリガーが完全に収縮されるまで、コントロールハンドルを押し続けます。すべてのアウトリガー表示ランプが消えたときに、コントロールハンドルを離します。すべての機能が回復しています。

注記:収縮中にコントロールハンドルをすぐに離すと、アウトリガー表示ランプは緑に点滅し、アウトリガーが完全に収縮されていないことを示します。

振動システムのテスト

注記:このテストは地上から作業台操作で行ってください。作業台には立たないでください。

振動システムのテスト(収納時)

77 左側ステアリングタイヤを、高さ 4 in / 10 cm の段差の上に乗り上げます。

⊙ 結果:4 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

78 右側ステアリングタイヤを、高さ 4 in / 10 cm の段差の上に乗り上げます。

⊙ 結果:4 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

注記:地上操作パネルに故障コードが表示されてないことを確認してください。

振動システムのテスト(上昇時)

79 リフト機能作動ボタンを押したままの状態で、作業台を約 8 ft / 243 cm から 9 ft / 274 cm 上昇させます。

80 左側ステアリングタイヤを、深さ 4 in / 10 cm の穴の中に乗り入れます。

⊙ 結果:4 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

81 右側ステアリングタイヤを、深さ 4 in / 10 cm の穴の中に乗り入れます。

⊙ 結果:4 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

注記:地上操作パネルに故障コードが表示されてないことを確認してください。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検チェックリスト

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください。

- ❑ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ❑ 傾斜面
- ❑ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ❑ 頭上の障害物、高圧送電線
- ❑ 危険な場所
- ❑ 機械の重量に耐えられない地面
- ❑ 風や天候の状態
- ❑ 関係作業員以外の人物の存在
- ❑ その他、起こりうる危険な状態
- ❑ 大きい水たまり

点検

警告文付きステッカーの点検

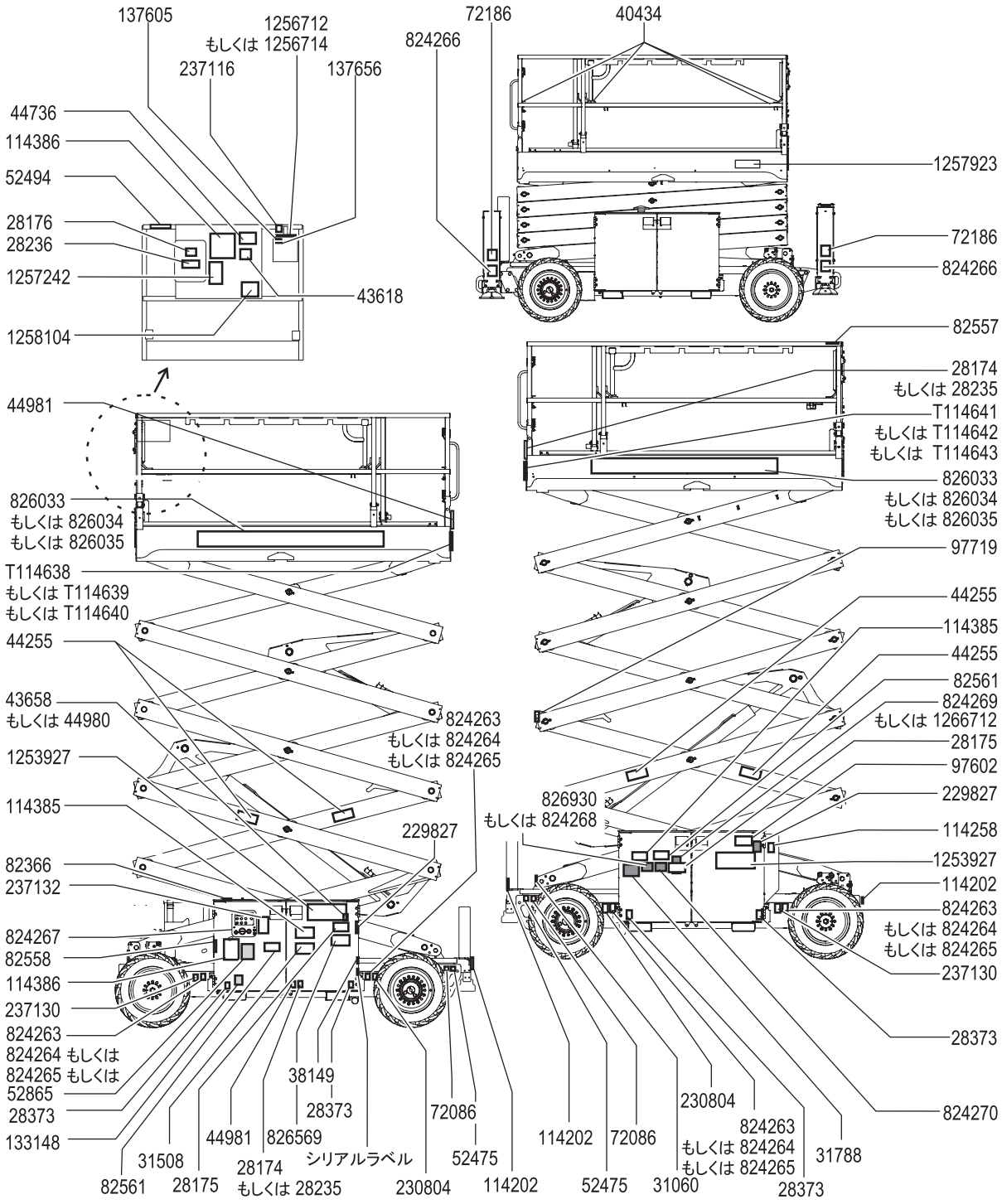
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

品番	ステッカーの説明	数量
28174	ラベル ― 作業台への電力、230V	2
28175	警告 ― コンパートメントへのアクセス	1
28176	ラベル ― 説明書の不備	1
28235	ラベル ― 作業台への電力、115V	2
28236	警告 ― 不適切な操作	1
28373	ラベル ― フォークリフト ポケット	4
31060	危険 ― 転倒の危険、リミット スイッチ	1
31508	危険 ― 感電の危険	1
31788	危険 ― 爆発/やけどの危険	1
38149	ラベル ― 特許品	1
40434	ラベル ― 安全帯固定箇所	6
43618	ラベル ― 方向矢印	1
43658	ラベル ― 充電器への電力、230V	1
44255	危険 ― 挟まる危険	4
44736	危険 ― 転倒の危険、傾斜アラーム	1
44980	ラベル ― 充電器への電力、115V	1
44981	ラベル ― 作業台への空気管	2
52475	ラベル ― 輸送用の荷締め	4
52494	要注意 ― 挟まる危険、手摺り	1
52865	警告 ― 1 年毎の点検記録	1
72086	ラベル ― 吊り上げ点	4
72186	警告 ― 挟まる危険、アウトリガー	4
82366	ラベル ― Chevron Rando	1
82557	ラベル ― 作業台操作場所	1
82558	警告 ― 皮膚への噴射の危険	1
82561	危険 ― 挟まる危険	2
97602	警告 ― 爆発の危険	1
97719	ラベル ― 安全アーム	1
114202	ラベル ― 輸送図	2
114258	危険 ― 爆発の危険	1
114385	危険 ― 感電の危険	2
114386	危険 ― 安全上の規則	2
133148	危険 ― 感電の危険	1
137605	ラベル ― 緊急停止、作業台操作	1
137656	ラベル ― 走行・ステアリング方向、作業台操作	1
229827	警告 ― 表面高温	2
230804	指示 ― タイヤ仕様、リア	2
237116	ラベル ― 作業表示コード	1
237130	指示 ― タイヤ仕様、フロント	2
824263	ラベル ― 輪荷重、GS-2669BE	4
824264	ラベル ― 輪荷重、GS-3369BE	4
824265	ラベル ― 輪荷重、GS-4069BE	4
824266	ラベル ― アウトリガー負荷	1
824267	オーバーレイ ― 地上操作パネル	1
824268	危険 ― 転倒の危険、バッテリー、T145	1
824269	指示 ― コーラー社エンジン仕様（KD-350）	1
824270	指示 ― バッテリー接続図、T105 & T145	1
826033	外装 ― Genie GS-2669BE	2
826034	外装 ― Genie GS-3369BE	2
826035	外装 ― Genie GS-4069BE	2
826036	指示 ― 操作、地上操作	1
826569	指示 ― バッテリー充電操作	1

次ページへ続く。

点検



■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

点検

警告文付きステッカーの点検

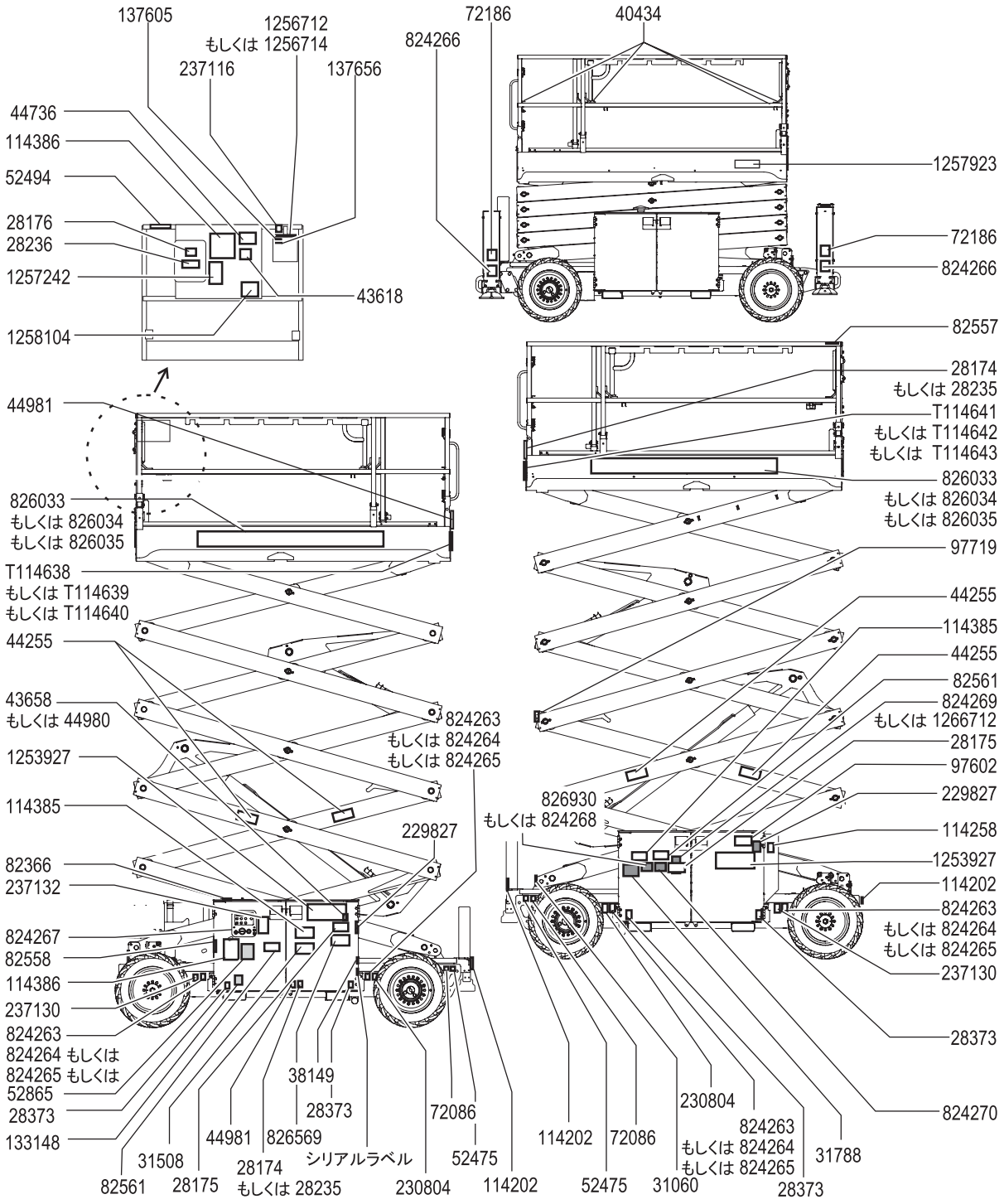
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

前ページからの続き。

品番	ステッカーの説明	数量
826930	危険 ー 転倒の危険、バッテリー、T105	1
1253927	外装 ー Bi-Energy ハイブリッド	2
1256712	オーバーレイ ー 作業台操作パネル（アウトリガーなし）	1
1256714	オーバーレイ ー 作業台操作パネル（アウトリガーあり）	1
1257242	指示 ー 操作、作業台操作	1
1257923	ラベル ー Smartlink	2
1258104	危険ーアウトリガーの安全と指示	1
1266712	指示 ー コーラー社 3000 RPM エンジン仕様（KD-350）	1
T114638	指示 ー 最大積載量、1500 lbs / 680 kg、GS-2669	1
T114639	指示 ー 最大積載量、1000 lbs / 454 kg、GS-3369	1
T114640	指示 ー 最大積載量、800lbs / 363 kg、GS-4069	1
T114641	指示 ー 最大側方圧力 225 lbs / 1000 N、GS-2669RT、ANSI & CSA	1
T114642	指示 ー 最大側方圧力 200 lbs / 890 N、GS-3369RT、ANSI & CSA	1
T114643	指示 ー 最大側方圧力 150 lbs / 667 N、GS-4069RT、ANSI & CSA	1

点検



■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

点検

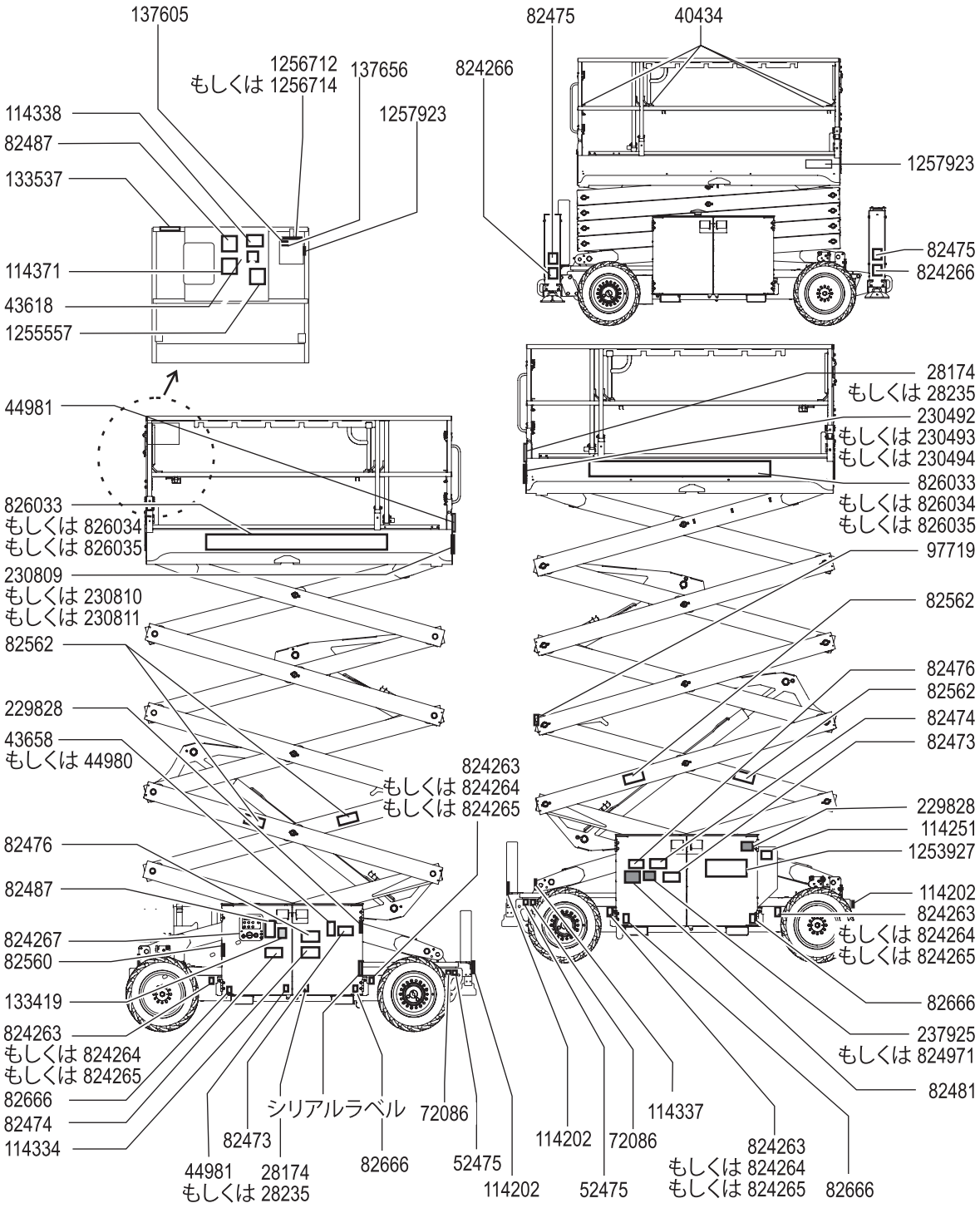
シンボル付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

品番	ステッカーの説明	数量
28174	ラベル – 作業台への電力、230V	3
28235	ラベル – 作業台への電力、115V	3
40434	ラベル – 安全帯固定箇所	6
43618	ラベル – 方向矢印	1
43658	ラベル – 充電器への電力、230V	1
44980	ラベル – 充電器への電力、115V	1
44981	ラベル – 作業台への空気管	2
52475	ラベル – 輸送用の荷締め	4
72086	ラベル – 吊り上げ点	4
82473	ラベル – コンパートメントへのアクセス	2
82474	ラベル – 安全輪止め使用	2
82475	ラベル – 挟まる危険、アウトリガー	4
82476	ラベル – 感電の危険	2
82481	ラベル – バッテリー/充電器の安全	1
82487	ラベル – マニュアルを読む	2
82560	ラベル – 皮膚への噴射の危険	1
82562	ラベル – 挟まる危険	4
82666	ラベル – フォークリフト ポケット	4
97719	ラベル – 安全アーム	1
114202	ラベル – 輸送図	2
114251	ラベル – 爆発の危険	1
114334	ラベル – 感電の危険、プラグ	2
114337	ラベル – 転倒の危険、リミットスイッチ	1
114338	ラベル – 転倒の危険、傾斜アラーム	1
114371	ラベル – アウトリガーの安全	1
133149	ラベル – 感電の危険	1
137605	ラベル – 緊急停止、作業台操作	1
137656	ラベル – 走行・ステアリング方向、作業台操作	1
133537	ラベル – 挟まる危険	1
229828	警告 – 表面高温	2
230492	ラベル – 外圧、GS-2669	1
230493	ラベル – 外圧、GS-3369	1
230494	ラベル – 外圧、GS-4069	1
230809	ラベル – 最大積載重量、GS-2669	1
230810	ラベル – 最大積載重量、GS-3369	1
230811	ラベル – 最大積載重量、GS-4069	1
237925	ラベル – 転倒の危険、バッテリー、T105	1
824263	ラベル – 輪荷重、GS-2669BE	4
824264	ラベル – 輪荷重、GS-3369BE	4
824265	ラベル – 輪荷重、GS-4069BE	4
824266	ラベル – アウトリガー負荷	4
824267	オーバーレイ – 地上操作パネル	1
824271	ラベル – 転倒の危険、バッテリー、T145	1
826033	外装 – Genie GS-2669BE	2
826034	外装 – Genie GS-3369BE	2
826035	外装 – Genie GS-4069BE	2
1253927	外装 – Bi-Energy ハイブリッド	1
1255557	ラベル – 暴走の危険、傾斜	1
1256712	オーバーレイ – 作業台操作パネル（アウトリガーなし）	1
1256714	オーバーレイ – 作業台操作パネル（アウトリガーあり）	1
1257923	ラベル – Smartlink	2

点検



■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されます。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、オペレータの安全および責任に関するマニュアルの安全規則と手順にすべて従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

操作手順

非常停止

地上もしくは作業台操作パネルの赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) にし、すべての機能を停止します。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、地上操作が優先されるため、作業台の赤色非常停止ボタンは使用できません。

機械操作

本機械はエンジンが作動してるかどうかにかかわらず操作することができます。

1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。

2 機械の操作前にバッテリー パックが接続されていることを確認します。

3 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、ON （オン） の位置にあることを確認します。

緊急下降

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

3 緊急降下機能作動トグルスイッチを動かして、そのままの位置にします。

4 緊急降下トグルスイッチを動かして、そのままの位置にします。

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 エンジン始動ボタンを押し続けます。

注記：グロープラグが作動しているときに、LCD 画面にカウントダウンが表示されます。カウントダウンが終了すると、エンジンが始動します。

作業台を位置につける

1 操作パネル上で、リフト機能作動ボタンを押したままにします。

2 作業台上昇または作業台下降ボタンを押します。

走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

操作手順

作業台からの操作

1 エンジン始動ボタン表示ランプが点灯してから、エンジンを始動してください。

2 エンジン始動ボタンを押し続けます。

⊙ 数秒後に、エンジンが始動します。

⊙ 注記：グロープラグが作動しているときに、LCD 画面にカウントダウンが表示されます。カウントダウンが終了すると、エンジンが始動します。

3 エンジンを停止するには、エンジン始動ボタンを押して解除します。

⊙ エンジンが停止します。

エンジン再始動システム

エンジンが始動すると、エンジン再始動システムが起動します。

エンジン再始動システムが起動すると、エンジンはバッテリーを充電しながら起動と停止を繰り返します。

エンジン始動ボタン表示ランプが点灯し、LED 画面がオンになっているときに、ある機能が作動すると、エンジンが再始動する場合があります。

エンジン再始動システムをオフにするには、エンジンが作動中にエンジン始動ボタンを押します。エンジン始動ボタン表示ランプと LED 画面はオフになります。

エンジン再始動システムがオフになると、機械はバッテリー電力のみを使用します。

エンジン始動ボタン表示ランプが点灯してから、エンジンを始動してください。

作業台を位置につける

1 リフト機能作動ボタンを押します。LCD 画面では、リフト機能シンボルの下に丸印が表示されます。



リフト機能ボタンを押して、7 秒以内にコントロールハンドルが操作されない場合には、リフト機能シンボルの下の丸印は消え、リフト機能は作動しません。再度、リフト機能作動ボタンを押します。

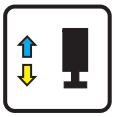
2 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 コントロールハンドルを操作パネルのマークに従って動かします。

アウトリガーを延長する

アウトリガーを伸張するには、次の操作を行います。

1 アウトリガー機能ボタンを押します。LCD 画面では、アウトリガー機能シンボルの下に丸印が表示されます。



2 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

操作手順

3 コントロール ハンドルを黄色い矢印の方向へ動かします。

アウトリガーは延長し始めます。対応するアウトリガーが地面と接触すると、各アウトリガー表示ランプが緑に点灯します。リフト作動表示ランプが緑色になりビープ音が聞こえるまでコントロールハンドルを動かし続けます。機械は水平な状態にあります。リフト エラー表示ランプが赤く点灯すると、上昇/下降機能および走行機能は無効になっています。次の場合、リフト エラー表示ランプが赤く点灯します。

- 地面と接触していないアウトリガーがある。
- 4 つのアウトリガーがすべて地面と接触しているが、機械は水平ではない。
- エラー コード。

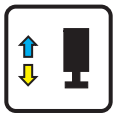
注記：延長中にアウトリガー機能ボタンと収縮ボタンをすぐに離すと、緑に点滅しアウトリガーが地面に接触していないことを示します。

注記：アウトリガーランプが緑に点灯していると機械は水平でない場合があります。もしくは長いビープ音が作業台操作アラームで聞こえない場合はアウトリガーが完全に位置についていないことがあります。

アウトリガーを収縮する

アウトリガーを収縮するには、次の操作を行います。

1 アウトリガー機能ボタンを押します。



2 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 コントロール ハンドルを青い矢印の方向へ動かします。

アウトリガーが地面から離れたらすぐにコントロールハンドルを離します。アウトリガー表示ランプは消灯します。すべての機能が回復しています。

注記：収縮中にアウトリガー機能と収縮ボタンをすぐに離すと、緑に点滅しアウトリガーが完全に収縮されていないことを示します。

操作手順

操舵

1 走行機能ボタンを押します。LCD 画面では、走行機能シンボルの下に丸印が表示されます。

走行機能ボタンを押しても、コントロール ハンドルが 7 秒以内に動かない場合には、走行機能シンボルの下の丸印が消えて、走行機能は作動しません。再度、走行機能ボタンを押します。

2 ステアリング ホイールをコントロール ハンドルの先端にあるサムロッカースイッチで回します。



走行

1 走行機能ボタンを押します。LCD 画面では、走行機能シンボルの下に丸印が表示されます。

走行機能ボタンを押しても、コントロール ハンドルが 7 秒以内に動かない場合には、走行機能シンボルの下の丸印が消えて、走行機能は作動しません。再度、走行機能ボタンを押します。

2 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 速度を上げるには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げるには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止するには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心に戻すか、または、機能作動スイッチを離します。

作業台操作パネルと作業台の色別された方向矢印を使って、機械の進む方向を確認してください。

作業台が上昇した状態では走行スピードが制限されています。

バッテリー状態は機械の性能に影響します。バッテリーレベル表示ランプが点滅している時、機械の走行速度および機能速度は低下します。

操作手順

⚠ 傾斜面における走行

機械に対する上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。



最大定格勾配、延長デッキ上り勾配 (登坂能力) :35% (19°)



最大定格勾配、延長デッキ下り勾配: 15% (9°)



最大定格横勾配: 35% (19°)

注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

傾斜勾配の確認:

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なものは以下のとおりです。

- 水準器
- 最低 3 ft / 1 m の長さの真っ直ぐな木片
- 巻尺

傾斜面の上に木片を置きます。

谷側の端で、木片の上端に水準器を置いた後、木片が水平になるまでその端を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の端の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離 (高さ) を木片の長さ (水平距離) で割り、その数値に 100 を掛けます。

例:



木片の長さが 144 in (3.6 m) なら、

水平距離 = 144 in (3.6 m)

高さ = 12 in (0.3 m)

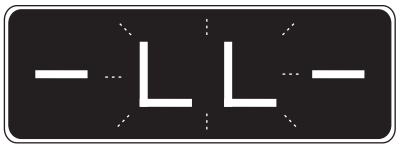
12 in ÷ 144 in = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配
0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配

上り/下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き揚げるか、もしくは傾斜面の上または下に運ぶ必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

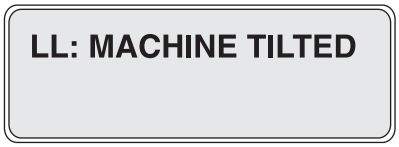
操作手順

作業表示コード

作業台操作 LED または地上操作 LCD 診断表示に、LL 等の操作表示コードが表示されている場合、機械操作を再開する前に故障状態を修理または解消する必要があります。赤色の緊急停止ボタンを押し込み、次に引き出して、システムをリセットします。



LED 計測器情報



LCD 計測器情報

操作表示コード

コード	状態
LL	水平でない
OL	作業台過負荷
CH	シャーシモード運転
Nd	走行なし（オプション）
Ld	リフト機能無効
St	エンジン始動遅延
F053	DCON RR 熱保護
F054	DCON LR 熱保護
F055	牽引モーター RR 故障：モーター温度
F056	牽引モーター LR 故障：モーター温度

詳しい情報については該当する Genie サービスマニュアルをご覧ください。コードとコードの説明については、地上操作 LCD 表示でも見ることができます。

温度限界カットアウトをリセットする

作業台操作パネルの LED 表示に故障コード F053、F054、F055 または F056 が表示された場合、機械がオーバーヒートしています。故障状態を修理するか解消してから、機械の運転を再開してください。

1 赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ) の位置にします。

2 運転を再開するまでに 5 分ほど置いて、機械を冷却してください。

3 赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) の位置にします。

コントローラを使った地上からの操作

オペレータ、機械、固定された物体の間に安全な距離を保ってください。

コントローラを使う際、機械が走行する方向に注意してください。

操作手順

バッテリー レベル表示器

LED 診断計測値を使用して、バッテリー レベルを確認します。

注記：作業台操作 LED 表示上に LO コードが点滅しているときに、エンジンが作動していない場合には機械の使用を中止し、充電しなければなりません。そうしないと、機械のすべての機能が働かなくなります。



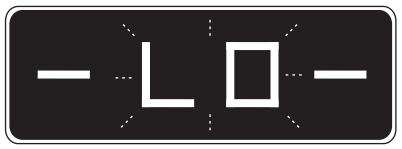
100 %充電



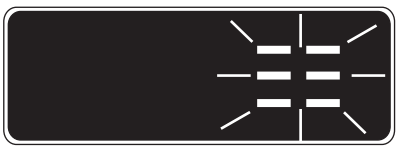
50 %充電



低充電



LO 点滅



エンジン再始動

電源コンセントの使用

発電機から電源を使用すると、バッテリー充電の速度が落ちる、または充電が停止する場合があります。

発電機の電源を使うには、作業台への電源ケーブルを機械のコンセントに差し込みます。

安全アームの使用方法

1 作業台を地上約 8 ft / 2.4 m まで上げます。

2 安全アームを回して機械から離し、下に垂らした状態にします。

3 安全アームがリンクにしっかり載るまで、作業台を下げます。作業台が降下しているときは、安全アームに近づかないでください。

作業台の延長と収納

1 作業台の延長ロックハンドルを水平な位置になるまで持ち上げます。

2 作業台の延長ロックハンドルを押し、作業台を目的の位置まで延長します。

作業台を延長している時は、作業台の延長部分に立たないでください。

3 作業台延長ロックハンドルを下げ、延長デッキがロックされていることを確認します。

使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 作業台を下げます。

3 キースイッチを OFF (オフ) の位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

4 バッテリーを充電します。

操作手順



バッテリーと充電器の操作手順

必ず以下に従うこと。

- ☑ 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。
- ☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。
- ☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。
- ☑ Genie 承認のバッテリーと充電器のみを使用してください。

バッテリーの充電

エンジンまたは外部電源を使用してバッテリーを再充電します。

充電前にバッテリーが接続されていることを確認します。

充電の終了後、バッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリー チューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

エンジンによるバッテリーの充電

エンジンを作動することによって、バッテリーは自動的に充電されます。

充電サイクルが完了すると、エンジンは自動的に停止します。

外部電源によるバッテリーの充電

1 接地されている AC 回路に充電器を接続します。

充電サイクルが完了すると、充電器は自動的に停止します。

充電の終了後、バッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリー チューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。

2 それぞれのセルに、プレートが隠れる程度にバッテリー液（電解液）を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、いっぱいに入れないでください。入れすぎると、充電中にバッテリー液があふれることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

3 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

4 バッテリーを充電します。

5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ Genie は、以下の装置の輸送および設置に関する情報を 1 つの提案として提示します。操縦者は、米国運輸省の規定、地域のその他の規定および自社の方針に従って、機械を正しく固定し、正しいトレーラーを選択することに関して、すべての責任を負っています。

☑ Genie の顧客が任意のリフトまたは Genie 製品をコンテナに収める必要がある場合には、建設用機器およびリフトを国際輸送用に準備、積載、固定する作業の専門知識を持つ、認定された運送会社に依頼してください。

☑ 機械のトラックからの積み下ろしは、認定を受けた高所リフト作業員のみが行ってください。

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。

☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。

☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。Genie リフトはそのサイズと比べるとかなりの重量があります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

☑ ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。

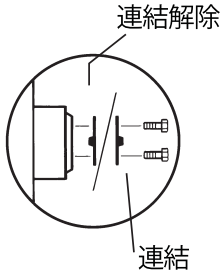
☑ 機械の定格勾配を超える上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には「ブレーキ解除操作」の指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

ウィンチ用のフリーホイールの設定

機械が動かないよう輪止めをかましてください。

すべてのモデル：2 つのリアトルクハブ取外しキャップを反転させて、ホイールブレーキを解除します。



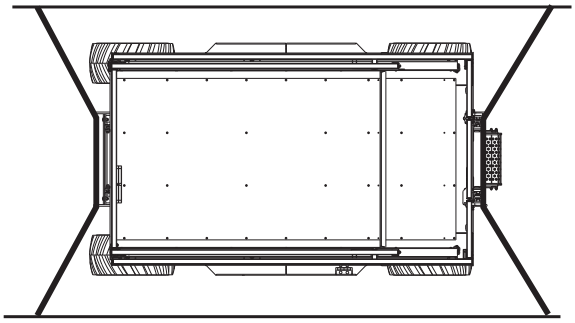
シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

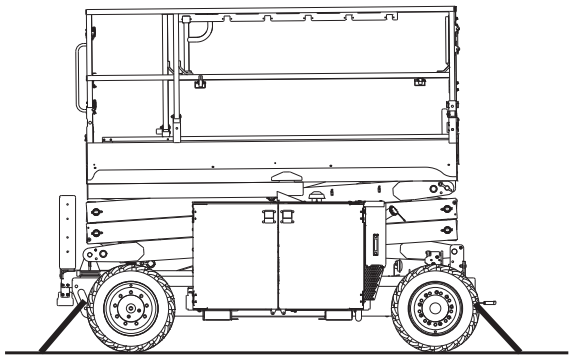
再びブレーキをかけるには逆の手順を行ってください。

機械が動かないよう輪止めをかましてください。

輸送および持ち上げの手順

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定





輸送する場合は必ず前もって機械に輪止めをかましてください。

延長デッキを収縮し、固定します。

シャーシの荷締め箇所を使って輸送車両へ固定してください。

最低でも 2 組のチェーンまたはストラップを使用してください。

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

輸送の前にキースイッチを OFF（オフ）の位置に回し、キーを取り外してください。

緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

手摺りが下方に曲がっている場合は、輸送前にストラップで固定します。

輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ 機械の組み立ておよび持ち上げを行うときは、必ず認定されている整備工が行ってください。

☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが、機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

持ち上げの手順

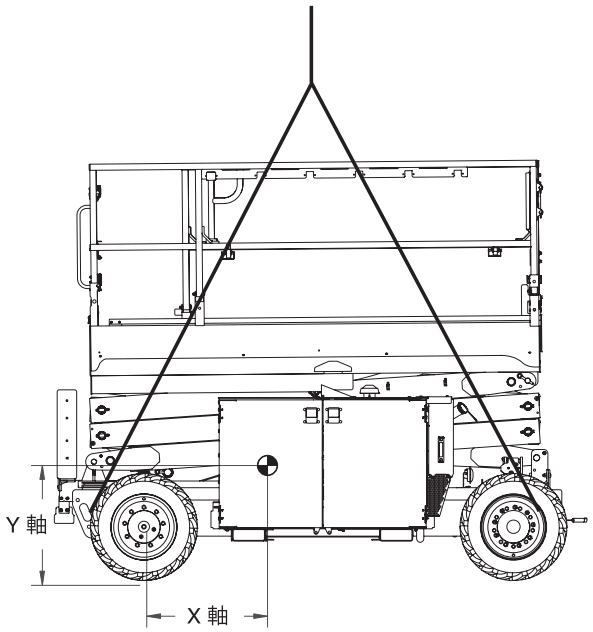
作業台を完全に下げます。延長デッキ、操作パネルおよび部品トレイが固定されていることを確認してください。機械の緩んでいる箇所はすべて取り外してください。

このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

機械の指定の吊り上げ点にのみ装具を取り付けます。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、装具を調節してください。

重心	X 軸	Y 軸
GS-2669BE	38.1 in	30.1 in
	97.3 cm	76 cm
GS-3369BE	41.8 in	31.82 in
	106.9 cm	80 cm
GS-4069BE	38.5 in	30.93 in
	96.8 cm	78 cm



メンテナンス



必ず以下に従うこと。

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

☑ Genie 承認の交換部品のみを使用してください。

メンテナンス記号の説明

以下の記号は、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。

この手順を行うために、工具が必要です。

この手順を行うために、新たな部品が必要です。

エンジンオイル量の点検

エンジンを高性能に保ち、耐用年数を長く保つために、エンジンオイルの量を適切にしておくことはきわめて重要です。オイル量が不適切な状態で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

注記:オイル量のチェックはエンジンを止めた状態で行ってください。

1 オイル計量棒をチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。

コーラー社 KD-350 エンジン	
オイルタイプ	SAE 15W-40

メンテナンス

作動油量の点検

作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

1 作業台が収納位置にあることを確認します。

2 油圧タンク側面にある表示計を目視点検します。

⊙ 結果：作動油の量は表示計の上から 2 in / 5 cm 内にしなければいけません。

3 必要に応じてオイルを補充してください。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rando HD 相当物

バッテリーの点検

バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

注記：密封型またはメンテナンス不要のバッテリーを搭載する機械では、この手順は必要ありません。

⚠ 感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

⚠ 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注記：このテストはバッテリーを完全に充電してから行ってください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定ブラケットが適切な位置にしっかりと取り付けられているか確認します。

注記：端子プロテクターや腐食防止シーリング剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食を防止することができます。

メンテナンス

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が、本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

仕様

GS-2669BE		
高さ、操作時最大	32 ft	9.8 m
高さ、作業台最大	26 ft	8 m
高さ、収納時最大、手摺りを 上げた状態	102 in	2.59 m
高さ、収納時最大、手摺りを 下げた状態	75.5 in	1.92 m
高さ、手摺り	58 in	1.47 m
幅	69 in	1.75 m
長さ、作業台収納時	123 in	3.12 m
長さ、作業台収納時、アウトリガー搭載モデル	148 in	3.76 m
長さ、作業台延長時	177.5 in	4.51 m
長さ、作業台延長時、アウトリガー搭載モデル	189.5 in	4.81 m
長さ、外側の作業台延長時	170 in	4.32 m
最大積載荷重	1500 lbs	680 kg
最大風速	28 mph	12.5 m/秒
ホイールベース	90 in	2.29 m
旋回半径 (外側)	181.2 in	4.6 m
旋回半径 (内側)	83 in	2.11 m
最低地上高	9.5 in	24 cm
電源、T105	バッテリー x 8、6V 225AH	
電源、T145	バッテリー x 8、6V 260AH	
システム電圧		48V
重量	9,231 lbs	4,187 kg
(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。)		
作業台 AC コンセント		標準

作業台寸法		
作業台奥行き x 幅	110 in x 63 in	2.79 x 1.6 m
作業台延長部長さ	170 in	4.32 m

走行速度		
格納時最大、前進	4.5 mph 40 ft/6.06 秒	7.2 km/時 12.2 m/6.06 秒
格納時最大、逆進	3 mph 40 ft/9.09 秒	4.8 km/時 12.2 m/9.09 秒
作業台上昇時、最大	0.3 mph 40 ft/90 秒	0.5 km/時 12.2 m/90 秒
最大油圧力(機能)	3500 psi	241 バール
タイヤ サイズ		26 x 12 x 380

最大勾配の定格値、収納状態	
延長デッキ、登り勾配	35% (19°)
延長デッキ、下り勾配	15% (9°)
横勾配	35% (19°)
注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。	

床荷重表		
最大輪荷重	3743 lbs	1698 kg
最大アウトリガー荷重	3427 lbs	1554 kg
タイヤ接地圧	93.6 psi	6.59 kg/cm^2 645 kPa
アウトリガー接地圧	43.6 psi	3.07 kg/cm^2 301 kPa
車体占有面の平均圧力	188 psf	918 kg/m^2 9.01 kPa
注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。		

操作温度
周辺温度が常に 0°F (-17°C)を**下回る**場所では、Chevron Aviation A Arctic 作動油または同等品を使用すること。
周辺温度が常に 0°F (-17°C)を**上回る**場所では、Chevron Rando HD MV 作動油または同等品を使用すること。
運転温度が常に 205°F (96°C)を上回る場所では、Shell Tellus S2 V 46 を使用すること。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

GS-3369BE		
高さ、操作時最大	39 ft	11.9 m
高さ、作業台最大	33 ft	10 m
高さ、収納時最大、手摺りを 上げた状態	102 in	2.59 m
高さ、収納時最大、手摺りを 下げた状態	75.5 in	1.92 m
高さ、手摺り	58 in	1.47 m
幅	69 in	1.75 m
長さ、作業台収納時	123 in	3.12 m
長さ、作業台収納時、アウトリガー搭載モデル	148 in	3.76 m
長さ、作業台延長時	177.5 in	4.51 m
長さ、作業台延長時、アウトリガー搭載モデル	189.5 in	4.81 m
長さ、外側の作業台延長時	170 in	4.32 m
最大積載荷重	1000 lbs	454 kg
最大風速	28 mph	12.5 m/秒
ホイールベース	90 in	2.29 m
旋回半径 (外側)	181.2 in	4.6 m
旋回半径 (内側)	83 in	2.11 m
最低地上高	9.5 in	24 cm
電源、T105	バッテリー x 8、6V 225AH	
電源、T145	バッテリー x 8、6V 260AH	
システム電圧		48V
重量	8,970 lbs	4,069 kg
(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。)		
作業台 AC コンセント		標準

作業台寸法		
作業台奥行き x 幅	110 in x 63 in	2.79 x 1.6 m
作業台延長部長さ	170 in	4.32 m

走行速度		
格納時最大、前進	4.5 mph 40 ft/6.06 秒	7.2 km/時 12.2 m/6.06 秒
格納時最大、逆進	3 mph 40 ft/9.09 秒	4.8 km/時 12.2 m/9.09 秒
作業台上昇時、最大	0.3 mph 40 ft/90 秒	0.5 km/時 12.2 m/90 秒
最大油圧力(機能)	3500 psi	241 バール
タイヤ サイズ		26 x 12 x 380

最大勾配の定格値、収納状態	
延長デッキ、登り勾配	35% (19°)
延長デッキ、下り勾配	15% (9°)
横勾配	35% (19°)
注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。	

床荷重表		
最大輪荷重	3554 lbs	1612 kg
最大アウトリガー荷重	3484 lbs	1581 kg
タイヤ接地圧	81.4 psi	5.73 kg/cm^2 562 kPa
アウトリガー接地圧	46 psi	3.24 kg/cm^2 317 kPa
車体占有面の平均圧力	175 psf	854 kg/m^2 8.37 kPa
注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。		

操作温度
周辺温度が常に 0°F (-17°C)を**下回る**場所では、Chevron Aviation A Arctic 作動油または同等品を使用すること。
周辺温度が常に 0°F (-17°C)を**上回る**場所では、Chevron Rando HD MV 作動油または同等品を使用すること。
運転温度が常に 205°F (96°C)を上回る場所では、Shell Tellus S2 V 46 を使用すること。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

GS-4069BE		
高さ、操作時最大	46 ft	14 m
高さ、作業台最大	40 ft	12.3 m
高さ、収納時最大、手摺りを 上げた状態	108 in	2.74 m
高さ、収納時最大、手摺りを 下げた状態	82 in	2.08 m
高さ、手摺り	65 in	1.65 m
幅	69 in	1.75 m
長さ、作業台収納時	123 in	3.12 m
長さ、作業台収納時、アウトリガー搭載モデル	148 in	3.76 m
長さ、作業台延長時	177.5 in	4.51 m
長さ、作業台延長時、アウトリガー搭載モデル	189.5 in	4.81 m
長さ、外側の作業台延長時	170 in	4.32 m
最大積載荷重	800 lbs	363 kg
最大風速	28 mph	12.5 m/秒
ホイールベース	90 in	2.29 m
旋回半径 (外側)	181.2 in	4.6 m
旋回半径 (内側)	83 in	2.11 m
最低地上高	9.5 in	24 cm
電源、T145	バッテリー x 8、6V 260AH	
システム電圧		48V
重量	12,016 lbs	5,450 kg
(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。)		
作業台 AC コンセント		標準

作業台寸法		
作業台奥行き x 幅	110 in x 63 in	2.79 x 1.6 m
作業台延長部長さ	170 in	4.32 m

走行速度		
格納時最大、前進	4.5 mph 40 ft/6.06 秒	7.2 km/時 12.2 m/6.06 秒
格納時最大、逆進	3 mph 40 ft/9.09 秒	4.8 km/時 12.2 m/9.09 秒
作業台上昇時、最大	0.3 mph 40 ft/90 秒	0.5 km/時 12.2 m/90 秒
最大油圧力(機能)	3500 psi	241 バール
タイヤ サイズ		26 x 12 x 380

最大勾配の定格値、収納状態	
延長デッキ、登り勾配	35% (19°)
延長デッキ、下り勾配	15% (9°)
横勾配	35% (19°)

注記:定格勾配は、地面の状態と車輪と地面との摩擦により異なります。

床荷重表		
最大輪荷重	3993 lbs	1811 kg
最大アウトリガー荷重	3729 lbs	1692 kg
タイヤ接地圧	99.8 psi	7.02 kg/cm^2 688 kPa
アウトリガー接地圧	47.5 psi	3.34 kg/cm^2 326 kPa
車体占有面の平均圧力	225 psf	1099 kg/m^2 10.77 kPa

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

操作温度

周辺温度が常に 0°F (-17°C)を**下回る**場所では、Chevron Aviation A Arctic 作動油または同等品を使用すること。

周辺温度が常に 0°F (-17°C)を**上回る**場所では、Chevron Rando HD MV 作動油または同等品を使用すること。

運転温度が常に 205°F (96°C)を上回る場所では、Shell Tellus S2 V 46 を使用すること。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

代理店

www.genielift.com